

池田を支える礎

市政功労者を表彰します

11月3日(祝)の「文化の日」に、表彰条例に基づき市政に寄与・貢献された方々を表彰します。また、日頃からさまざまな分野で活躍、善行奉仕をされている方々に感謝状を贈呈します。掲載の了解をいただいた受賞者は下記のとおりです。(順不同・敬称略)

有功賞

三宅正起、荒木眞澄、安黒善雄、西垣智、中田正紀、田渕和明

功労賞

- 自治振興(1人)＝葛村和弘
- 教育文化(2人)＝齋藤敏章、藤本享右

感謝状

- 自治振興(4人)＝安田清、古川清、中田博之、藤原美代子
- 教育文化(1人)＝久保光義
- 体育・スポーツ(4人)＝野村喜代子、藤井幸造、本田万里、岩井純子
- 公安消防(3人)＝加味廣治、柄澤宏昭、池田真一
- 社会福祉(20人)＝渡邊義継、岡村希実、島野香里、末永京子、中岡喜代美、中西史三、藤阪裕美子、山田助松、田中俊明、梶田良治、吉原文弘、秋山和子、野沢周代、津田直子、緑川由紀、田中裕子、奥由佳、雨堤泉、倉田晃
- 福祉衛生(5人)＝池田喜代子、白井節子、杉本睦美、松本純子、浜田博子

問合 秘書課 ☎754・6201

池田を歩いて文化を堪能

文化財公開ウォーキング

⑩3046

上池田薬師堂、一乗院、常福寺所蔵の仏像(市指定文化財)などを紹介します。また、八坂神社では国重要文化財の本殿の見学を行います。(解説・吉原忠雄文化財保護審議会委員)

日時 11月30日(日) 8時50分池田駅前てるてる広場集合(小雨決行)

持物 水筒、タオル

申込 11月4日(火) 9時から電話で社会教育課 ☎754・6674



コース

池田駅前てるてる広場

(9時出発)

上池田薬師堂

(9時15分～9時45分)

一乗院

(10時05分～10時35分)

常福寺

(11時05分～11時35分)

八坂神社

(11時50分～12時20分)

池田駅前てるてる広場

(12時40分散)

一乗院(鉢塚2-7-26)

●木造 雨宝童子立像(市指定文化財)

雨宝童子(うほうどうじ)は神仏習合思想によって説かれたもので、天照大神や大日如来(だいにちにちによらい)の化現と言われています。厚手で大まかな表現の衣は室町時代の様式です。

常福寺(神田3-11-2)

●木造 千手観音立像(市指定文化財)

常福寺の本尊。像高は165cmで、市内ではあまり見られない等身大の仏像です。10世紀前半に作成されたものと考えられています。

八坂神社本殿(神田4-7-1)

天正7(1579)年に織田信長の兵火により全焼しましたが、慶長15(1610)年に、池田氏の末裔他紋丸(たもんまる)により再建されました。北摂における桃山時代の建築様式を伝える、数少ない建築物です。

問合 社会教育課 ☎754・6674

舞台上で魅せろ!究極の芸

社会人落語日本一決定戦

「池田でアマチュアの落語家をたくさん育てていきましょう」

落語みゅーじあむの名誉館長である桂文枝さんの熱い思いから始まった「アマチュア落語講座」の開設から2年後に第1回目が開催された「社会人落語日本一決定戦」は、今年で17回目を迎えます。落語みゅーじあむで育ったアマチュア落語家はもちろん、仕事や家庭を両立しながら落語に打ち込む340人の応募を全国、そしてアメリカからいただきました。

年々、予選会からハイレベルな戦いが繰り広げられています。出演者の思いが詰まった熱い「笑い」をぜひお楽しみください。



予選会

決勝戦

事前審査を通過した160人が6つの会場で落語を披露。

時間 12月6日(土)11時(開場10時30分)

場所 落語みゅーじあむ、中央公民館、池田駅前南会館、市役所7階大会議室、市民活動交流センター、西光寺



予選会を勝ち進んだ10人が市民文化会館の舞台上で競います。日本一が決定する大舞台の笑い感動をぜひ一緒に。

時間 12月7日(日)11時(開場10時30分)

場所 市民文化会館
〈審査員〉桂文枝(大会統括)、桂小文枝(落語家)、木下昌輝(作家)、日高美恵(よせびっ編集者)

※決勝戦の観覧は、入場整理券が必要です。

同券は落語みゅーじあむ(☎753・4440)で配布しています。



阪急「石橋阪大前駅」西口から徒歩約8分
無料駐車場あり(約70台)

問合せ 社会人落語日本一決定戦大会事務局 ☎753・4443

ダイバーシティをチカラに

ツナガリエ石橋まつり

ID 15939

ツナガリエ石橋のお祭りです。ポイントラリーやステージ、ワークショップなど盛りだくさんです。皆さんぜひお越しください。

日時 11月15日(土)10時～16時

1 階ロビー

〈ツナガリエ石橋スタンプラリー2025〉 A

全フロアを回ってスタンプを集めた方に景品を進呈
(先着100人)。

場所 総合窓口で受け付け・景品のお渡し

〈写真コンテスト〉 C

市内在住の外国人市民が撮影した写真に投票。

〈石橋図書館見学ツアー〉 A

司書による石橋図書館の案内。

場所 1階カウンター前で受け付け・集合

時間 ①10時40分②11時40分③13時40分④14時40分(各30分程度)

定員 各7人(先着順)

申込 11月1日(土)10時から右記申込フォーム



▲申込フォーム

ミニステージ

①「ねこじゃらし人形劇 ぶうぶうぽんぽんこんこんにゃお」 B

ねこじゃらし

人形劇のねこじゃらしによる人形劇。

時間 10時～10時30分

対象 未就学児と保護者

定員 10組(先着順)



▲申込フォーム

②「いろいろな国のことばでおはなし会」 A

インドネシア語、韓国語、ヒンドゥー語、ベトナム語による絵本の読み聞かせなど。

時間 11時～11時40分

定員 20人(先着順)



おはなし会



▲申込フォーム

2階

〈わたぼうし体験〉 B

広場の体験など。

時間 10時～12時、13時～16時

対象 原則0～3歳の子どもと保護者

定員 各10組程度(先着順)



ジャズパフォーマンス

③「Jazz Performance」 C

アメリカ人歌手ホゼア・ベーカーさんによる歌。

時間 13時～13時30分

定員 20人(先着順)



▲申込フォーム

4 階パソコンコーナー

電子図書館体験会 A

電子図書館の利用案内および操作体験。

時間 10時～16時

対象 本市在住・在学・在勤の方

持物 図書館カード(当日発行可能)、スマートフォン・タブレットなど



ロシアダンス

④「ロシアダンス」 C

在日本ロシア文化支援センター(ローディナ)のダンスグループ「フェニックス」による舞踊と歌。

時間 14時～14時30分

定員 20人(先着順)



▲申込フォーム

5 階フロア

〈IDCで多文化ワークショップ〉 C

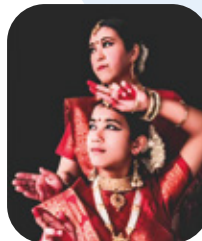
①「いろんな言葉であいさつ体験」
※オリジナル缶バッジをプレゼント。

②「いろんな言葉で遊ぼう」

③「台湾の切り絵ワークショップ」

④「Enjoy Fishing」

時間 11時～15時(景品が無くなり次第終了)



インド舞踊

⑤「インド舞踊」 C

本市を拠点に活動するインド舞踊グループ「ムクタカラトマ」によるインド舞踊。

時間 15時～15時30分

定員 20人(先着順)



▲申込フォーム

申込 ①11月4日(火)10時から電話または申込フォームでわたぼうし②11月1日(土)10時から申込フォームで石橋図書館③④⑤11月1日9時から申込フォームでダイバーシティセンター

ID 20122

11月4日(火)から受け付け

保育施設の新規入所・転所申し込み

8年4月の保育施設の新規入所受け付けを始めます。申込書は幼児保育課で配布、または市ホームページからダウンロードできます。

対象 保護者が共働きや病気などの理由で保育を必要とする家庭

費用 保育料(3～5歳児は無償)、給食費(3～5歳児)、個人用保育用品費など

申込 次の①②の方法で受け付け

①11月4日～12月12日(金)に、必要書類を持って直接幼児保育課(土・日曜日、祝日は除く)

②11月4日～28日(金)(消印有効)に特定記録や簡易書留などの配達記録が残る方法で同課(〒563-8666、住所不要)

※期間中に申し込みができない方は、8年1月30日(金)までを2次利用調整として受け付けます。また、7年度中に入所申し込みをした方で8年4月以降も入所を希望する方は、再度申し込みが必要です。詳細は、同課で配布する「保育施設入所ガイド」または市ホームページをご覧ください。

窓口混雑状況確認システムをご活用ください

窓口の混雑状況を見ることができます。右記二次元コードから「4階」タブ内の「保育施設への入所・転所」または「その他保育所に関する相談」をご覧ください。ご案内は2つのメニューを合わせて順番に行います。



▲窓口混雑状況確認

AI保育コンシェルジュに相談

24時間365日、質問に自動でお答えする、AIを活用した相談システムです！
保育所のこと、いつでも相談してね。



▲AI保育コンシェルジュ



問合 幼児保育課 ☎754・6208

ID 19487

かぶろう！命を守るヘルメット

自転車乗車用ヘルメットの購入費補助

5年4月1日から道路交通法が改正され、自転車乗車時のヘルメットの着用が全年齢で努力義務化されました。今年度の自転車乗車用ヘルメットの購入費補助は最後です。

詳細は、市ホームページをご覧ください。

期 間 11月5日(水)～30日(日)

対象者 申請時に本市在住の方(補助を受けられた方は対象外)

補助対象 7年4月1日以降に新品で購入した「SGマーク」などの安全規格マーク付き自転車乗車用ヘルメット

必要な物 ①安全規格マークの付いたヘルメットまたは保証書
②ヘルメットを購入した方の名前の記載がある領収書またはレシート
③本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカード、健康保険証、後期高齢者医療被保険者証のいずれか)
④通帳またはキャッシュカード

補助金額 購入費用の2分の1(上限2,000円)
※100円未満は切り捨て。ポイント利用額、クーポンなど割引、送料、手数料がある場合は、差し引き後の金額が補助対象。

定 員 200人程度(先着順)

申 込 11月5日9時から右記申込フォームで交通道路課
※電子申請が難しい方は、窓口で入力方法をサポート。
申請に必要な物①～④を持って、直接同課。



▲申込フォーム

対象の安全規格マーク一覧



SG
((一財)製品安全協会の安全基準)



JCF
((公財)日本自転車競技連盟の安全基準)



CE (EN1078)
(欧州連合の欧州委員会の安全基準)



GS
(ドイツ製品安全法が定める安全基準)



CPSC
(米国消費者製品安全委員会の安全基準)

問合 交通道路課 ☎754・6281

40歳になったら

年に1回、健診を受診しましょう

対象者

国民健康保険に加入中の40～74歳の方
後期高齢者医療制度に加入中の方

※受診日当日に国民健康保険（または後期高齢者医療制度）の資格がなくなっている場合は受診できません。また、特定健診・後期高齢者健康診査を受診する場合は、同一年度の人間ドックの補助は受けられません。

40歳から74歳までの方は…

無料

「**特定健診**」の対象です。

腹囲測定や血圧測定、尿検査といった基本的な検査と、生活習慣についての問診を行い、その結果からメタボリックシンドロームの危険性レベルを判定します。健診で早期発見して、生活習慣を改善しましょう。

75歳以上の方は…

無料

「**後期高齢者健康診査**」の対象です。

糖尿病や高血圧症などの生活習慣病に加え、加齢に伴う心身の衰え（フレイル）などのチェックを行います。



利用の流れ

1

予約する

- 医療機関での受診
受診券に同封の実施医療機関に直接予約してください。
- 休日急病診療所での受診
同所 ☎752・1551 で受け付けます（木・土曜日は休館）。

2

受診する

受診券とマイナンバーカードまたは資格確認書を持って医療機関へ。



3

結果を確認

検査結果の通知は、来院での説明または郵送で行います。



特定健診の結果、生活習慣の改善が必要な方には**特定保健指導**が行われます。

※国民健康保険加入者が対象です。後期高齢者には、健康相談のご案内を送付しています。

受診券を発行（再発行）したいときは？

国民健康保険に加入中の方は、直接国保・年金課または電話、電子申請（ぴったりサービス）で発行できます。後期高齢者医療制度に加入中の方は保険医療課または府後期高齢者医療広域連合（☎06・4790・2031）に問い合わせてください。



▲電子申請はこちら